

声に出して 使ってみてね しまくとぅば くい んだし つかいんにんに ちまむぬい

どうなんむぬい (与那国ことば)

スピーカーをクリックすると、
音声が流れます。



はじめに

んさい わるかやー。ちまむぬい あたら きー、いちばぎん ぬぐし ひるんでい、ぎはい とうらし わい、ふがらっさ。ぶーるし ぎはいんだんぎ (ごきげんいかがですか。しまくとぅばを大切に、いつまでも残すためにお励み下さり、有難うございます。みんなで頑張っていきましょう)。

沖縄ほど数多くの種類のことばを持っている地域はありません。村が違えばことばも違います。そのことばの違いは村の個性を形作る重要な要素で、しまくとぅばの豊富さは沖縄の文化の豊かさにつながっています。村々の個性豊かな文化を大切に、次代に受け継いでいくためにも、しまくとぅばを大切にしていかななくてはなりません。

沖縄県しまくとぅば普及センターではそのために、沖縄各地のしまくとぅばの学習のために、簡便なハンドブックを作りました。日常生活のいろいろな場面で使われるしまくとぅばについて、この本をとおして接していただきたいと思います。もちろんこの小さな本は、しまくとぅばの豊かな世界に入るための入り口にすぎません。皆さんがそれぞれの村々のしまくとぅばに興味を持ち、それを身につけていかれるその第一歩として、本書をご活用下さいますことをご期待申し上げます。

2020年3月17日

沖縄県しまくとぅば普及センター
センター長 はてるまえいきち 波照間永吉

本書を利用するにあたって

本書『くい んだし つかい んにんに ちまむぬい』は、与那国ことばの話者、崎原用能（祖納出身）、国頭政英（祖納）、小嶺長詳（祖納）、田原伊明（比川）、新里恵美子（祖納）、前楚美津子（祖納）、前黒島民子（祖納）、内原敏行（祖納）、8名の皆さまから協力を得て作成しました。

「しまくとうば」の表記は、カタカナやローマ字、音声記号で表すなど、いろいろな方法があります。本書では、県民の皆様が日ごろから親しんでいる平仮名を用いています。

しかし、「しまくとうば」で言い表すことが難しく、共通語をそのまま使っていることばに関しては、漢字やカタカナを用いて表記しているか所もあります。

また、「しまくとうば」には、標準語のかな表記のきまりでは書き表せない音があります。それを書き表すために、特別な表記を使っている語もあります。

本書を読む前に、右頁にある「特別な表記について」の説明を読んで、ご理解いただきますようお願い致します。

特別な表記について

本書には「[°]か」や「[°]か」など、日ごろあまり見かけない表記が出てきます。要点を5点にまとめてみました。

①「[°]か」「[°]ぎ」「[°]く」（はなごえ音）

「[°]か」「[°]ぎ」「[°]く」は、「が」「ぎ」「ぐ」に近い音を書き表しています。つぎの手順で発音が可能です。

まず、「かんがえる（考える）」「えんぎ（縁起）」「どんぐり」と3回言ってみましょう。3回目の時、「ん」のところで一旦声を出すのを止めてみてください。この「ん」を長く発音すると鼻を鳴らす音がでるので、強く出し続けてみましょう。すると、鼻にかかった「[°]か」「[°]ぎ」「[°]く」が発音できます。このとき鼻声が混じっているように聞こえるので「はなごえ音」と呼ぶことにします。どうなんむぬいでは、「**んまんき ひるんがー？**（どこに行くの？）」などの疑問詞（「**んまんき**（どこに）」）を使う文の言い終わりに現れることが多いです。

この「[°]か」「[°]ぎ」「[°]く」は、与那国島の人たちが強く意識している音です。うまくマスターすることができれば、「どうなんむぬいらしき」を表現できます。

②「[°]か」「[°]た」（かたい音）

小さい「[°]」が左上に付いた「[°]か」「[°]た」などの文字は、日本語の「いっかい」「行った」の「っ」に近い音ですが、異なる特徴を持っています。まず、「いっかい（一回）」「カッター」と3回言ってみましょう。3回目の時に、「いっかい」の「かい」の直前、「カッター」の「ター」の直前で音を

止めてみると、のどがすごく緊張して力が入っている状態になっています。そのまま息を漏らさずに「か」「た」を短く、強く発音すると、「**っか**」や「**った**」を発音できるようになります。このとき、のどに力を入れるため、「かたい音」と呼ぶことにします。

この「**っか**」「**った**」は、日本語の「行った」の「っ」と長さが異なります。日本語の「行った(いった)」は、「板(いた)」の「い」と「た」の間に「ぐっところえる時間」が1拍あります。それに対して「**った**」は、この時間が非常に短いのです。そのため、「**った**」は「いた(板)」の「た」に近い長さで発音されます。

なお、「**っき**」「**っきゃ**」「**った**」「**ってい**」「**っとう**」なども同様の方法で発音することができるようになります。

③ 「どわ」

「**どわ**」を発音するときは、いくつかのことを意識しなければなりません。「**どわい**(祝い)」や「**どわん**(暗い)」の「**どわ**」は、「**どうなん**(与那国)」の「**どう**」を発音したすぐ後に、軽く、短く「あ」を続けて発音してみるとうまく発音できるようになります。

④ 「一」や「っ」の有無

どうなんむぬいでは、「一」(長音)や「っ」(促音)を入れても入れなくても良い場合があります。例えば、同じ人が会話によって「**ちらー**(顔)」を「**ちら**」「**ふがらっさ**(ありがとう)」を「**ふがらさ**」と発音することがあります。このような特徴は他のしまくとうばにはあまりみ

られません。日本に目を向けると東北方言や九州方言の一部に似た特徴を持つ方言があり、シラビーム方言と呼ばれています。

⑤ 「や行」が「だ行」に！

他のしまくとうばで「や行」で始まる単語が、どうなんむぬいでは、「**だま**(山)」「**どうい**(結)」「**どー**(夜)」のように「だ行」で発音されます。

この本の表記方法について

①～⑤で説明したように、どうなんむぬいは他の地域とは異なる発音が多くみられるのが特徴なのですが、最近では、①の「はなごえ音」の「**が**」を通常の「が」や「んが」と発音してしまったり、②の「かたい音」の「**った**」を通常の「た」や促音の「った」と発音してしまったりする人も出てきました。

一方、④の特徴は「一」や「っ」が挿入されたり、省かれたりするなど、話者ごとの違いという訳ではなく、同じ話者でも会話ごとに異なる発音になることもあります。

上記のようなこともあり、本書では録音に協力して下さった話者の方々の音声をそのまま書きとるという方針で表記しています(同じ単語でも異なる表記があるのはそのためです)。

1, 挨拶ことば……………8

- ◆朝起きたとき (8)
- ◆ごはんを食べるとき (9)
- ◆出かけるとき (9)
- ◆外で友人に出会ったとき (10)
- ◆(午後の時間帯に) 外で知人に出会ったとき (10)



- ◆仕事場から帰るときの挨拶 (11)
- ◆夕方・夜の挨拶 (12)
- ◆初対面のときの挨拶 (12)
- ◆二回目以降のときの挨拶 (13)
- ◆その他の挨拶 (14)
- ◆正月の挨拶 (16)



2, 自己紹介……………17

- ◆自己紹介 (17)
- ◆家族を紹介します (18)



3, 身体用語……………20

- ◆身体を表すことば (20)
- ◆身体に関連することば (22)



4, お祝いや行事で使えるしまくとぅば……………24

- ◆お祝いのことば (24)

- ◆「おめでとうございます」を表現することば (25)
- ◆行事の際に使うことば (26)

5, 拝みのときに使うしまくとぅば……………28

- ◆祈願することば (28)
- ◆まじないことば (29)



6, 病院での会話……………30

- ◆診察のときの受け答え 1 (30)
- ◆診察のときの受け答え 2 (32)

7, その他……………34

- ◆食事のときに使うことば (34)
- ◆食味をあらわすことば (35)
- ◆問いかげのことば (35)



8, ことわざ……………38

9, タクシー運転手との会話……………40

- ◆空港からタクシーに乗る (40)

10, 地域の特徴……………42

- ◆沖縄県の様子 (42)
- ◆与那国の特徴 (43)
- ◆観光案内 (43)



日本最西端の碑/
アヤマヒビル館／なんた浜／立神岩

1, 日常的な挨拶

挨拶ことば (あいさてい むぬい)

◆朝起きたとき

・もうお目覚めですか？

まー うぎ わなー？ (みーすり わなー？)

起きているよ。= うぎ ぶんどー。

起きた？ = うぐなー？ (同年や目下に)



・お目覚めですか？

うぎ わいなー (うぎ わな) ？

・早く起きなさい。もう夜が明けるよ (もう時間だよ)。

はやぐ うぎり。まー どうー あがんどー (まー
ていかん なんだー)。

・朝ごはんは食べた？ (召し上がりましたか？)

？とうむていぬ いー はーなー？ (うやし わた
なー？)

・朝ごはんを召し上がって下さい (食べなさい)。

？とうむていぬ いー うやし わりー (いー はい)。

※すとうむてい = 今朝

※？とうむてい = 朝



◆ごはんを食べるとき

・お召しあがりください (ごはん食べて)。

うやし わり (いー はい)。

・さあ、いっしょに食べよう。

でいー、まどうん はいんだぎ。

・いただきます。

たばらりる。

・とってもおいしかった (ごちそうさま)。

あらーぐ まーどう あたる。

・おいしいね。

まんがいえー。

※あらーぐ またん = 本当においしかった。

たばらりる！



◆出かけるとき

・行ってくるね。

いていてい
くたよー！

いていてい くたよー。

・ゆっくり気をつけて行くんだよ。

どうりーどうりどう だらーていなどう ひるどー

(わるどー = お行きになるんですよ。(目上に対して))。

・注意して (慎重に) 行けよ。(同級生や目下の人に対して)

みくきどう ひりよー。

みくーみく だらなどう ひりよー。





◆外で友人に出会ったとき

- ・やあ。きょうは、良い天気だなあ。

やー。すーや、いー わしきどう あんすやー。

- ・良い天気になって良いね。

いー わしき ないてい んさたんがいえー。

- ・きょうは、こんなに早く起きているの。

すーや、うぬ はやぐ うぎ ぶんすや。

// うぎ わるんすや。(目上に対して)

- ・どちらにお行きになるんですか？（どこに行くの？）

んまんき わるんがー？（ひるんがー？）

- ・行ってらっしゃい。

いていてい わり。



◆（午後の時間帯に）外で知人に出会ったとき

- ・元気？（「こんにちは」に相当する表現。）

んさなー？（目下に対して）

んさい わたなー？（普段から付き合いのある目上に対して「お

元気でいらっしゃいましたか？」の意味）

- ・お疲れはありませんか？

くたんでい んんに わるんが？ = 体調はどうですか？

- ・元気だった？（久しぶりに会うとき）

んさたなー？



◆仕事場から帰るときの挨拶

- ・気をつけてお帰りになるんですよ（帰るんだよ）。

だらなどう わるどー（ひるどー=目下に）。

- ・はい、また明日ですね。

いた、また あったいえー。

※返事のことばは、目上の方には「うおー」。同年代や目下には「よい」が使われます。

- ・さあ、一緒にほら（「帰ろう」さそいの声掛け）。

ていー、まどうん ていー。

- ・疲れを癒しに、さあ（行こう）。

ばーりぬしんでい、ていー。

※ばーりぬし = 1日の疲れを癒やすための飲食。

- ・さあ、疲れを癒しに行こう。

ていー、ばーりぬしきんでい ひんだぎ（ひる）。

- ・そうだね。

いしいえ。

んさんどー。 = いいよ。（OK だよ）

- ・どこへ行きますか？

んまんき わるんがー？（ひるんがー？）

- ・どこがいいか？

んまが° まちかやー？



◆夕方・夜の挨拶

- ・「ただいま」に相当する表現。

ないどう、するどー。= 今、来たよ。

ないどう、かいし する。= 「今、帰って来た」の意。

- ・今帰ったの？ 疲れてないですか？

ないどう かいし するなー？ ぶったい ぶらぬ
なー？

- ・夜になったから、寝るね。

どうる なりやー、にんどうったよー。

- ・もう、寝るね。(寝る人の「おやすみなさい。」に相当する表現)

まー、にんどうったよー。

さてい なるたよー。(「先になるね。」の意)

- ・では、おやすみなさい。(「もう寝るね。」と、人に返す言葉)

いたー、どうぐい わり。

まー さてい ない わり。(「先におやすみなさい。」の意)

◆初対面のときの挨拶

- ・初めまして。

はていみていいえー。

- ・よろしくお願いします。

たんでい どうーていん。

たんでいどー。 たんでい。(同僚や目下に対して)



- ・お初になります。お見知りおきください。(「よろしくお願ひします」と同じ意味)

はていみていどう ない ぶる。ちー とうらし
わい たばり。

◆二回目以降のときの挨拶

- ・お元気でいらっしゃいましたか？

んさい わたなー？

んさたなー？ (目下に対して)

- ・久しぶりだね、失礼しました。

まりかいていや、ぶりきー。

みーどうさぬ。んさたなー？ = 久しぶり。元気だった？

- ・最近は全くお会いしませんでした。お元気でいらっしゃいましたか？

くぬぐるや ちーとうーん とうばらぬたが、がんど
うきー わたなー？

とうばらぬたがー、がんどうき ぶたなー？ (目下に)

- ・最近顔を見なかったけど、忙しかったのですか？

くぬぐるや ちら んなにぬたが、いすがさどう あ
い わたるなー？ (年上に対して)

くぬぐるや ちら んなにぬたが、いすがさどう あ
たるなー？ (年下に対して)



んさい わたなー？



- ・今日も暑いですね。／暑いなあ。

すーん あっつあんか^いえー。／あっつあどう
あんすやー。



- ・そうだね、毎日暑いなあ。／暑いねえ。

いえー、^{ちぬか}ーてい あっつあどう あんすやー。
／いえー、^{ちぬか}ーてい あっつあ^んいえー。

- ・今日は寒いなあ。／冷え込んでいる。

すーや ひさどう あんすやー。／すーや ちぐいどう
ふる。(古い表現)

- ・寒くなってきたね。／なっているね。

ひさぐ ない あいぐんすやー。／ひるぐうどう ない
ぶんすやー。(古い表現)

◆その他の挨拶 (うぬ ふがぬ あいさ^てい くとうば)

- ・誠にありがとうございます。

あらーぐ(しかーつとう) ふがらっさ。

※ふがらっさ=ありがとう。

- ・ありがとうございました。

ふがらっさどう あたる。

- ・私が悪かった。「ごめんなさい」に相当する表現。

あがどう ばらさたる。

どうるし わり(ひり)。=許して下さい(ちょうだい)。



- ・失礼させて下さい。

ぶり きみ とうらし ひり。

- ・失礼してしまいました。

ぶり きー みぬたんすやー。

- ・どなたかいらっしゃいますか。(「ごめんください」の意)

たーん わるかやー。 たーん わるかやー!

- ・いらっしゃい。

わい すんにさー。(目上の方へ)

- ・いらっしゃった。

わい すん。

- ・いらっしゃいませ。どうぞお上がりください。

わーり。ながんき はい わり(かいる)。(年上に)

わーり。ながんき はい。(「中に入って。」年下に対して)

- ・先生が(これから)いらっしゃるよ。

しんしが^い わるんどー。

※わるんどー=いらっしゃるよ

- ・そちら(こちら)にいらして下さい。

うまんき わりー。

くまんき わりー。

※「ここ」=「くま」、「そこ」=「うま」

「あそこ」=「かま」、「あちこち」=「かまくま」



うまんき わりー!





◆正月の挨拶

- ・明けましておめでとうございます。

いー すがてい なんかい ふがらっさ。(「良い正月を迎えて嬉しいです。」の意)

みーとうち なんかい いー すがてい。(「新年を迎え、良い正月です。」の意)

- ・良い正月です。

いー すがてい。



- ・年頭のあいさつを申し上げますので、お聞きになって下さい。

にんとうぬ あいさつてい きー つぁりるば、つていー とうらし わり。

- ・今年も良い事がありますように。

くとうちん いー くとう あらみ とうらし わり。

※年を重ねる。年取り。= とうち かさび。とうち とうい。

※若水 = ばがみてい (年が明けた夜中の12時過ぎに、ナンタ浜や田原川、ティンダバナに水を汲みに行く。)

- ・良い正月を迎えさせて下さり、ありがとうございます。この世の徳を頂かせて下さい。(若水を汲むときのことば)

いー すがてい なんかい とうらし、ふがらっさゆー。

くぬゆぬ とうぐや むいしみ とうらし わり。



2, 自己紹介



◆自己紹介

- ・こんにちは。私の名前は崎原です。

んさい わるかや。あが^o なーや 崎原どう ない ぶる。

んさい わるかや。あぬや 崎原んてい んどう むぬどう ない ぶる。(こんにちは。私は崎原という者です。)

- ・よろしくお願いします。

つちー とうらし わい たばり。

- ・こんにちは。私は前楚です。よろしくお願いします。

んさい わるかや。あぬや 前楚ぬどう ない ぶる。

つちー とうらし わい たばり。

- ・私(の名前)は太郎です。役所で仕事をしています。

あぬや たるーどう ない ぶる。だぐばにどう しかま きー ぶる。





・与那国町祖納の生まれです。

どうなんちま とうまいむらぬ まりどう ない ぶる。

・与那国町久部良の生まれです。

どうなんちま くぶらむらぬ まりどう ない ぶる。

・与那国町比川の生まれです。

どうなんちま んていむら まりどう ない ぶる。

※とうまいむら = 祖納。 んていむら = 比川

くぶら = 久部良

・相撲観戦が面白い。「(「相撲観戦が趣味です」に相当)

ちま んぬすどう うむつつある。

うむつつある。



◆家族を紹介します

・私の家族を紹介します。

祖父は一郎、祖母は民子、父は次郎、母は美津子、妹は恵美子です。家族は、みんなで6人です。

ばー だーにんどう づたみ つぁりるん。

あさや 一郎、あぶや 民子、いやや 次郎、あぶたや 美津子、うづとうとうぶないや 恵美子どう、ないぶる。だーにんどう、ぶーるし どうくにんどう ないぶる。



祖父 (あさ)



祖母 (あぶ)



父 (いや)



母 (あぶた)



私 (あぬ)



妹 (うづとうとうぶない)

曾祖父 (うみあさ) 曾祖母 (うみあぶ) 姉 (あてい)

姉妹 (ぶない) ※男から女のきょうだいを呼ぶ場合

長女 (うばに) 次女 (ながに)

妹 (うづとうとうぶない) 兄 (すなてい)

長男 (さくち、うぶだ) 次男 (なぐだ) 兄弟 (うとうだ)

兄妹・兄弟 (うとうだ) 男女のきょうだい (びぎぶない)

年上 (すだ) 年下 (うづとうとう)

男 (びんが) 男の子 (びんがあがみ、まらてい)

女 (みぬが) 女の子 (みぬがあがみ、ひてい)

赤ちゃん (んくづてい) 孫 (まく) ひ孫 (またまく)

伯父 (うぶいや) 叔父 (いやづてい) 伯母 (うぶあぶた、あみ)

長女伯母 (うぶあつば) 叔母 (うばいづてい、あぶたづてい)

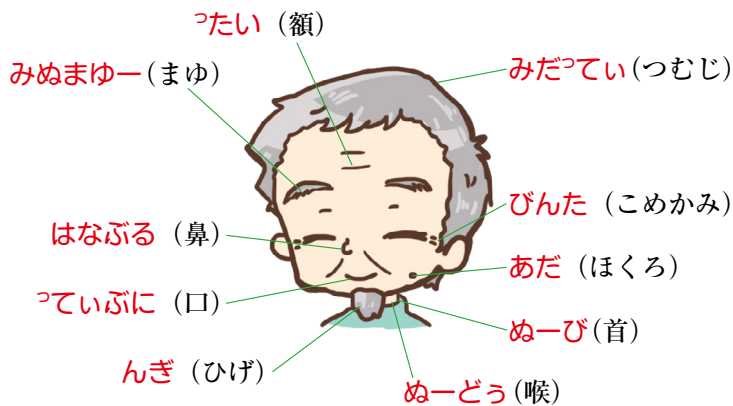
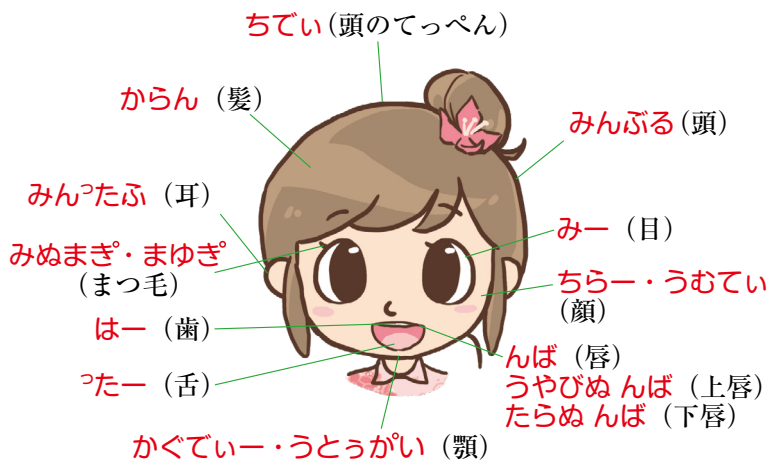
いとこ (いていぐ) 甥、姪 (ぶいは)

3, 身体用語



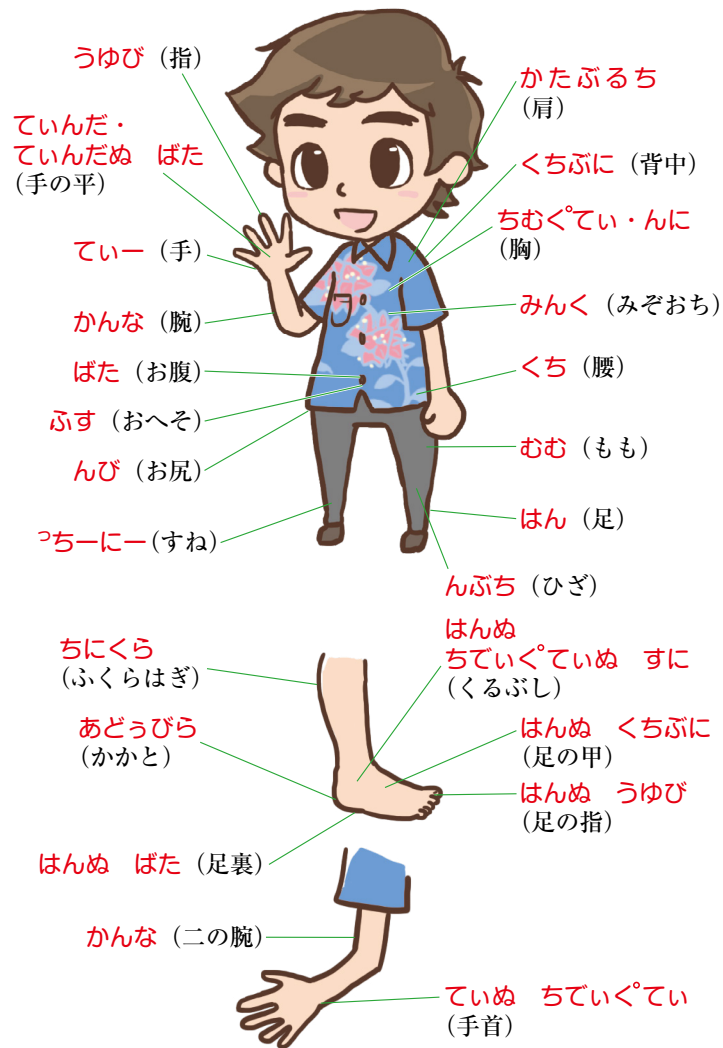
◆身体を表すことば (どうばだぬ な)

～頭から足先までのしまくとぅば～



んだい (左)

にてい (右)





◆身体に関連することば

いってい (息)
 い^ってい ^っちー
 いってい ^っちー (息を切らせる)
 いってい ^ってい、あいがにぬん
 (息を切らして、走れない)



あし (汗)
 あし^ぶた・あし^かっ^てい
 (汗かき)



ぬだ (涙) **ぬだ** はやん (涙もろい)
ぬだ んだし (涙を流す)



つばい^ってい (唾)
^ったん (痰)

くぶらぎ・さぶらぎ (しゃっくり)
 す^ってい (咳)
 はなぶ^ってい (いびき)
 はなぶ^てい きー (いびきをかく)



はん^ったり^っとう・
 はら^{たい} ぶる ^っとう
 (太っている人)



だぎな^っとう (痩せている人)
 だぎな^ひらかんか
 (痩せてガリガリの様子)



く^んどうぐり (怒る)
 く^んどうぐら (怒りんぼ)



びーびー き (ほろ酔い)
 いび びー ぶる (ちょっと酔っている)
 びーるん (酔う) びする (酔っ払い)
 びーどう ぶるなー? (酔っ払っているのか?)
 しから すさる ^っとう (力の強い人) にぐらん (怖い)
^っちお めまん (怖がり) うとうなさん (おとなしい)
 ひらっつあ (優しい) ぐたい まいさる ^っとう (体の大きい人)

4, お祝いや行事等で使えるしまくとぅば



乾杯、結婚式、祝賀会等の祝福。お悔やみ

◆お祝いのことば

どわい (お祝い)

まいさる どわい・うぶどわい (大きなお祝い)

しるどわい (出産祝い)

・きょうはご案内して下さい、ありがとうございます。

すーや かいし とぅらし、ふがらっさ。

・皆様の健康を願って乾杯をしましょう。

むーるぬ どうばだ にかいきー ていんぬ

はい たばらりる。

つぁりるば づていー
とぅらし わり!



・ひと言、挨拶させて下さい。(年配者が言う)

づとくとぅば、あいさてい きみ とぅらし わり。

づとくとぅ つぁりるば、づていー とぅらし わり。

(ひと言挨拶申し上げますので、お聞きになって下さい。=年下)

・婚礼に関することば

どうみすい (結納) / ながだづてい (仲人)

男性: とぅんかまい 女性: ふとぅむてい (結婚)

にだむづていなし (結婚式) さんがぬ とぅばら = 三々

九度 (結婚式で盃を交わすこと) びんがに (指輪)



◆「おめでとうございます」を表現することば

・うがまりる (お慶び申し上げます)

・しかーづとぅ ふがらっさんてい うまりる (「本当にうれしく思います」の意)

・あやがり むいしみ とぅらし、ふがらっさ (あやからせて頂き、ありがとうございます。)

・しゃなどう ある = (「うれしい」の意。おめでとう = 目下に)

・祝って下さい、うれしい。

どわいき とぅらし、しゃなどう ある。

・あなたがチャンピオンになったのは、親戚の誇りだよ。

んだが° チャンピオン なんすや、うとぅだまりぬ
かがんどー。(「親戚の鏡だよ」の意)

・あなたが試験に合格したのは、私たちの誇りです。

んだが° しきん あたんすや、ばんた はなどー。

こーこー あたい ばーりや。(高校合格おめでとう。「ごくろうさま」の意 = 親が子どもに言うことば)

・高校に合格して、とっても嬉しい。

こーこぬ しきん あたい、あらーぐ しゃなどう
ある。(「私はほんとに嬉しい。」の意)

・赤ちゃんが産まれたんでしょう? 幸せを、ありがとう。

あがみ まるんていさー? かいむしり ふがらっさ。



◆行事の際に使うことば

- ・十六日祭（**どうーぬくに²てい**）

今日は十六日祭だから、みんなでお墓に行こう。

すーや どうーぬくに²てい どう ありやー、むーるし

はがんき ひんだぎ。

ご先祖様に、手を合わせなさい（手を合わせて下さい）。

はぶていんき、てい かみり（うさしだ

んぎ）。

お供え物をいただきます。

さんだいや たばらりる。

お供えした物をいただきさせて下さい。

すーみんなや うぎ とうらし わい、さんだいや た

ばらみ とうらし わり。 = お供えも物を下げる際のことば。

- ・七夕（**たなばた**）

七夕なので、墓掃除をします。

たなばた どう ありやー、はがすてい きるん。

お盆前なので、墓掃除をします。

すーるまい どう ありやー、はがすてい きるん。

お盆には、ご先祖様皆揃ってお帰りになって下さい。

するにや、はぶてい ぶーる まどうん かいらり

とうらし わり。



- ・旧盆（**する**）

旧盆のお迎えをしましょう。

すーる んかいんだぎ。

みんなでお迎えをしましょう。

ぶーるし んかいんだぎ。

お盆で供えたご馳走を、お召し上がり下さい。

するにや まちやる うさい、うやし わり。

お供え物をいただきます。

さんだいや たばらりる。

お盆にお見送りしましょう。

すーる うぐいんだぎ。

お盆を済ませて、送り火をつけて、ゆっくりお見送り

しましょう。

するー ちまし、²たい ²きてい、どうりーどうり

みうぐいきんだぎ。

来年もお盆にはお帰りになって下さい。

ていんばぎん するにや かいらり とうらし わり。

- ・「お悔やみ」に関することば

だび（葬式） だびぬ んなに（喪服） ぶてい（坊さん）

葬儀の後の七日ごとの法事（**はちなんか** = 初七日・**ち**

んどうぐにてい = 四九日） **す²く**（法事、年忌の法要）



5, 拝みのときに使うしまくとぅば



火の神や屋敷拝み、トートーメーなど

◆祈願することば (たがびくとうば)

- ・**ちむぬ すぐがら ていー かみ (うさし)**。(心の底から手を合わせる。)

- ・**かんや はぶていんきぬ うがんぶすくないふる**。

(神様やご先祖様への御願(祈願)不足になっている。)

- ・屋敷四方の御願(お祓い)をしないといけない。

だしきどうふぬ にかい きらぬんとう ならぬん。

だしきぬ にかい きらぬんとう ならぬん。

※**ちぬかん** (火の神: 台所レンジの近くに祀られている「かまどの神」。)

※**ふるやぬ かん** (トイレの神様)

- ・良い正月を迎え、今年も健康にして下さい。

いー すがてい んかい、くとうちん どうばだ

がーりに むたみ とうらし わり。

いー すがてい。くとうちん どうばだ まぶい

とうらし わり。

※**がーり** = 健康 (古語)

- ・今年もよい年でありますように。

くとうちん いーとうち あらみ とうらし わり。



- ・きょうは十六日祭です。ご馳走を持ってきました。皆さまでお召し上がりください。

すーや どうぬくに²てい。うさい むてい すん。

むーるし うやし わり。

- ・屋敷の御願(だしきにかい)

土地の神様。今日は屋敷の御願を申し上げますので、聞いて見て心に留めて、お受け下さい。いつもお守り下さりありがとうございます。みんなの健康を守って下さい。

ていんがらぬち うたし わい たばり。すーや だ

しきにかいどう きー つありるば、²ていーとうみー

みーとうみ きー とうらし うぎとうい とうらし

わり。い²ちん まぶい とうらし ふがらっさ。むー

るぬ どうばだ まぶい とうらし わりよ。

◆まじないことば (どうたむぬち くとぅば)

- ・魂よ、追いかけて来てよ。もうお家にさあ(帰ろう)。

たまちー ういーがぎ くーよー。まー だんき

でいー (ひんだぎ)。

- ・お母さん以外は、誰も見るなよ。お母さんだけを見ているんだよ。

あぶた ふがや たーん んぬんなよー。

あぶだばがーい んにどう ふるどー。



6, 病院での会話



◆診察のときの受け答え 1

・お元気でいらっしゃいますか？

んさい わるなー？

んさい わるなー？



・夜は眠れましたか？

どうるや どうぐい わらりたな？

⇒眠れたよ。にんだりたんどー。

⇒眠れなかった。にんだにぬたん。

・昨晚は、よく眠れましたか？

どうびや、とうぐとう どうぐい わらりたな？

・今日（のご気分）はいかがですか？

すーや ぬんに わるんがー？

・どこか具合の悪いところはないですか？

んまん あんまさる どうぐるやー みぬなー？

⇒具合は悪くない。あんまさ みぬん。

⇒具合が悪い。あんまさどう ある。

・いつもと変わったところはないですか？

いちんとう かばい どうぐるや みぬなー？

・どこか具合の悪いところはないですか？

んまんあるんばん あんまさる どうぐるや みぬなー？



・どこか痛むところはないですか？

んーまん だむ どうぐるや みぬなー？

・どのように痛みますか？

ぬんに だむんが？

・どこか痛いところはある？（ありますか？）

んまがら だむ どうぐるや あなー？

んーまん だむ どうぐる あい わるなー？（丁寧な表現）

・どこが痛いですか？

んまが だむんがー？

・頭が痛いですか？

みんぶる だみ ぶるなー？

・大丈夫ですか？ んさな？

・大丈夫ですよ。 んさんどー。

・痛いかもしれませんが、我慢してくださいね（我慢しなさいよ）。

だむ はてやが、にてい わりよー（にていりよー）。

・かゆいところはどこですか？

つきゃーる どうぐるや んまや？

⇒頭がかゆいです。

みんぶる つきゃーどう ある。 んまや？

・はん ちぐまい（足がしびれる）

・あつつあん（暑い） ひさん（寒い）





◆診察のときの受け答え 2

- ・熱をはかるので、ベッドに横になって下さい。

だーぎ はがるりゃー、ベッドんき にぬぐり わり。

- ・着ている服を着替えましょう。

ちー ぶる んなに かいなしんだぎ。

- ・危ないですよ。

かいなしんだぎ!

うどうぶさんどー。

- ・顔を洗って下さいね。

うむてい かみ わりよー。

- ・どのような食べ物が好きですか？

ぬんにぬ はいむぬか^o まちや?

- ・毎日、食事は美味しく召し上がっていますか？

ちぬかーてい、いーや まぐまぐ うやし わるな?

- ・毎日何を楽しみにしていますか？

ちぬかーてい ぬば たぬしみ きー ぶんが?

⇒テレビを見るのが楽しみ。

テレビ んぬんすどう たぬしみ。

- ・何を一日中過ごしていらっしゃるのですか？

ぬー きてい ひつとうい くらち わるが?

- ・何か心配事はないですか？

ぬーん しば きる くとうや みぬな?



- ・歩かないと、元気になりませんよ。

あいがぬとぅ、んさ ならぬんどー。

- ・早く元気になってくださいね。

たいぐ んさ ない わりよー。

- ・おしっこを我慢していませんか？

んばい にてい ぶらぬなー?

- ・トイレに行ってきたのですか？

ふるやんき いていてい わい すな?

- ・トイレに行きたかったら、遠慮せずに言ってください。

ふるやんきー わい ぶさたやー、うぶさ きー

つきらぬんき んていわり。

- ・今日はよく頑張りましたね。

すーや あらーぐ ぎはたんやー。

- ・お元気で!

がんどぅ きー わり!

⇒ありがとう。

ふがらっさ。

ふがらっさ!



がんどぅー
きー わり!





日常でよく使うしまくとぅば

◆食事のときに使うことば

- ここに置きましょうね (ここに置きましたよ)。

うまんき うとうぐいえ (うまんき うとうぐたよー)。

- どのような食べ物が好きですか？

ぬんにぬ はいむぬば まちや？

- たくさん食べてくださいね。

まーしく うやし わり。

- 美味しいですか？

まーなー？

- 美味しかった？

またなー？

- 召し上がりましたか？

うやし わたなー？

- 何が好きですか？

ぬが^o まちや？

⇒パクチーが好きです。

くし^oていどう まち。

- 何が嫌いですか？

ぬーば はにぬが^o？

ぬが^o まちや？



くし^oていどう まち



◆食味をあらわすことば

- ・ひつつある あてい (薄い味)
- ・あてい ひつつあどう ある (味が薄い)
- ・あてい つかたん (味が濃い)
- ・ぬみむぬ つかたん (飲み物が濃い)
- ・んだん (塩辛い)

◆問いかげのことば

- ・何でも聞いてくれよ。

ぬーん つかていー とうらいよー。

- ・困ったことはありませんか？

むぬ うまにぬ くとう みぬなー？

- ・どこへいらっしゃたんですか？

んまんきば わたんが？

- ・どこへ行ったかね？

んまんきば ひゆるかやー？

- ・昔の与那国のことを教えてください。

んかちぬ どうなんぬ くとう ならし とうらし わり (つかみ とうらし わり)。

- ・趣味は何ですか？ (「日々の楽しみは何をしていらっしゃいますか」の意)

まどうぬ たぬしみや ぬば きー わるんが？



ならし とうらし わり!



・出身はどこか？

まりていまや んまやー？

・出身はどこですか？（どちらでいらっしゃいますか？）

まりていまや んまば ない ぶんが？（わるんが？）

⇒祖納出身です。

とうまいむらぬ まりどう ない ぶるー。

・与那国の言葉を教えてください。

どうなんぬむぬい ならし とうらし わり。

・お疲れさま。

ばーりや。

ばりやどー。（目下の人に対して）

・今日は本当にお疲れさまでした。（目上の人に対して）

すや しかーとう ふがらさ。

・疲れたねえ。（同僚や目下に対して）

ばーりやいえー。

⇒疲れましたね。（相手に同意を求めながら尋ねるとき）

ばーり わいさ。（目上の人に対して）

・明日もよろしくお願いします。

あつたん なんぎ きー とうらし わり。（「難儀をし

て下さい」の意）

なんぎ きー とうらいよー。=よろしくね。



・明日もお願いね。

あつたん また たんでいいえー。（相手をお願いして、大丈夫か確認を求めているとき）

あつたん また たんでいどー。（相手に期待していること等を伝えるとき）

・お先に失礼します。

さていに ぶり きみ とうらし わり。

・さようなら。また来ます。

ひるたよー。また くんいえー。

// くとよー。

・ごめんください。

ぬんに わるがー。（目上の人に対して）

// ぶんがー。（同僚や目下の人に対して）

・いらっしゃいませ。

くまんき わりー。

・気をつけてお帰りください（帰ってね）。

みくき わりよー（ひりよー）。

・ゆっくりお帰りくださいね。（目上の人に対して）

だらなどう わるどー。

・ゆっくり帰るんだよ。（同年や目下の人に対して）

だらなどう ひるどー。

ぬんに
わるがー。



与那国島



- ・「あとうなる むぬがどう、うぶいゆ ふん」(後になる者が、大きな魚を食べる)「残り物には福がある」と同じ意味。
- ・「いー むぬとう ちりたや いー ならい き、だな むぬとう ちりがらや だな ならいどう きる」(良い人と付き合ったら良い習慣が身に付き、悪い人と付き合えば悪い習慣が身に付く)「朱に交われば赤くなる」と同じ意味。
- ・「どとうーぬ ふてい んにてい どうーぬ ふてい むい」(人の振り(行動)を見て、自分の行動を直さない。)
- ・「ていん あがみがらや、かてい くんていどう ある」(空が赤くなったら、台風がやってくる)「天気のことわざ」



- ・「みー いりりやー、ぬび うりり」(実入れば、首垂れよ)「人間も中身が充実するほど、頭を下げて謙虚にならなければいけない」の例え。
- ・「うらぶだぎや んなりるが、どうーぬ みぬまんぎや んなにぬん」(宇良部岳は見えるが、自分のまつ毛は見えない)「灯台もと暗し」と同義語。
- ・「どうー しり、どとうー しり」(自分を知って他人を知りなさい)「我が身をつねって、他人の痛みを知りなさい」の例え。
- ・「きーぬ まんがい、いちぬ まんがいや むしていん かりるが、どとうーぬ まがいむぬや むしん ならぬん」(木の曲がり、石の曲がり直しても使えるが、人の曲がり者は直しできない)「三つ子の魂百まで」と同義語。

9、タクシー運転手との会話



◆空港からタクシーに乗る

- ・お帰りなさい。久しぶりに、お帰りですか？
わーりー。まりかいてい、かいし わい すんにさー？
- ・島から出て、10年経っている。
ちまがら とうんでいてい、どうーにん たていどう ぶる。
- ・10年前と今とはどのように変わっているのかなあ？
どうーにんまいとう ないとうや ぬんに かばい ぶるかやー？
- ・とても変わっているなあ。
にぐらるた かばいどう ぶんすやー。
- ・何ととっても(やっぱり)故郷はいいなあ。だけど暑いな。
ぬーんでいん なたんていん まりていまや まちや んがいえー。いるが° あつつあどう あんすやー。
- ・どちらにお泊まりですか？
んみば とうまい わるが？
- ・祖納に宿を取っています。
とうまいむらにどう だどう とうい ある。
- ・この道をまっすぐ行きますね。
くぬ あみてい まーまんか ひるいえー。



- ・そうだね。県道から行ってちょうだい。
いいいえー。うぶあみていがら ひー とうらい。
- ・10年前と全部変わっているの、分からないなあ。
どうーにんまいとうや ぶーる かばいどう ぶるゆ んがら、ばがらぬんすやー。
- ・ここを曲がります。
くま まがるんどー。
- ・そこ、右(左)が宿です。
うま、にていがどう だーどう ない ぶる。
うま、んだいがどう だーどう ない ぶる。
- ・着きましたよ。
とうどうとうんどー。
- ・なつかしいなあ。
なちかさんすやー。
- ・レンタカー(車)の手続き(あつらえ)は、こちらでして下さい。
くるまぬ あちらいや、くみ いし とうらし わり。
- ・明日まで借りれば、三千円になります。
あつたばぎん いるば、さんじえんえん かがるん。
- ・ありがとうございます。またご利用下さい。
ふがらさ。また つかい とうらし わりー。



10、地域の特徴



沖縄県の様子 うんなぬ しがた

・沖縄県は日本で唯一、亜熱帯地域に属して、1年中温暖なので、暮らしやすい地域といえます。

青々とした広い海は、色鮮やかな熱帯魚や、サンゴなどがすむ生き物たちの宝庫です。また、沖縄島やヤンバルや離島に残る森林では、日本や世界でもめずらしい動植物や昆虫が生息しています。また、色鮮やかに咲く花、若々しい樹木からは、力強い生命力を感じることでしょう。

・うんなや 日本に ただ³とうっち、亜熱帯地域に あいび、にんがらにんどう あつつあび、くらち だつつある どうぐるんでい んだりるん。

みーているみーている ひるさん うんながや、あがさ きるさ いゆや、サンゴ ぶーる たがらぬ ちまどう ない ぶる。 また一、うんなぬ ちまや やんばるや はなりていまに ぬぐる だまにや、だまとう しかいに あたんていん ちるまる いちむていんたが⁶ ぶんどー。また、いる みぐとうさに さぐ はな、ばが一たてい むい ぶる きーがらや、すさる ぬっていぬ いてい うぎる はていどー。



●与那国の特徴 どうなんちまぬ いーどうぐる

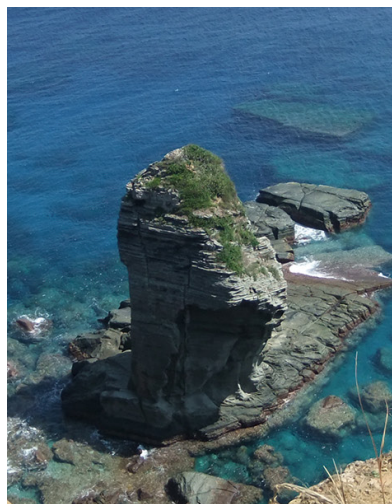
・与那国島は、沖縄本島から南西に向かって590km離れています。太平洋にぽつんと浮かぶ、周囲28kmの島です。台湾の傍らにあるので、国境の島と言われています。

・どうなんちまや、うんなぬ ちまがら さんぬはんき 590km はなり ぶる。うぶとうに う³たい ぶる、とうまーる 28kmぬ ちまどう ない ぶる。たいはんぬ かたばらに あいび一、い³ていはていぬ ちまんでい んだり ぶる。

●観光案内

・与那国島のいろいろな場所をご案内しましょう。

・どうなんちまぬ かまくま 案内 きー うやん。





・日本最西端の碑

ここは、日本で最西端の地です。運がよければ、台湾が見える場所として有名です。太陽が海に沈んでいく光景も何ともいえないほど美しいです。

うまどう、だまとうぬ いーつていん いりぬ はていぬ
ていーどう ない ぶる。うか° んさたやー、たいは
んが んながる どうぐるんてい うとう たがん。
ていだか° うんながんき いりる ばすや んんてい
ん んだにぬた あびゃん。

・アヤミハビル館 あやみはびるかん

ヨナグニサンは日本最大の蛾です。与那国では「アヤミハビル」と言っています。日本では、与那国と西表島にいます。アヤミハビル館では、このヨナグニサンを飼育しています。



ヨナグニサンや 日本に いていん まいさる はびる。
どうなんにや あやみはびるんていーどう んてい
ぶる。日本にや どうなんちまとう いりうむってい
にどう ぶる。あやみはびるかんにや、うぬ あやみ
はびる つかない ぶん。



・なんた浜 なんたはま

なんた浜は、与那国島の人々の心の故郷です。歌にもあるように、与那国では一番有名な場所です。

なんたはまや、どうなん²とうぬ ちむすらし どうぐる。
うたに あるんに、どうなんちまぬ いていん う
とう たがる どうぐるどう ない ぶる。



・立神岩 とうんがん ・たてがみいち

与那国島の南東部（巳の方角）の海にある、大きな岩が立神岩です。高さ30mもあります。

島の人達は、「神の岩」と呼んでいて、展望台からの姿は、神の岩という名前の通り見事です。

どうなんちまぬ みーぬは一ぬ うんながに ある、う
ぶいていどう たてがみいち ない ぶる。たぎや
30m あんどー。

ちまぬ ちとうんたや 「かんぬ いち」んていどう
んてい ぶいてい、展望台がら んなりる しがたや、
かんぬ いちぬ なーんに きびさんどー。

声に出して 使ってみてね しまくとぅば

『くい んだし つかいんにんに ちまむぬい』

どうなんむぬい (与那国ことば)

発行日 : 2020 (令和 2) 年 3 月 27 日

監修: 仲原 穰 (沖縄県立芸術大学 他 兼任講師)
目差尚太 (琉球大学大学院生)

与那国くとうば話者: 崎原用能、国頭政英、小嶺長詳、新里恵美、
田原伊明、前楚美津子、前黒島民子

音声話者: 崎原用能 (祖納)、前楚美津子 (祖納)、
内原敏行 (祖納)、村松稔 (与那国町教育委員会)

発行: 沖縄県文化観光スポーツ部 文化振興課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番
2号

編集・制作: しまくとぅば普及センター (沖縄県文化協会)
(校閲) センター長 波照間永吉
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番
2号 文化振興課内

制作・印刷: 合資会社 沖縄時事出版
代表 名幸諄子
編集責任 呉屋栄治
〒900-0025 那覇市壺川1-3-10
TEL 098-854-1622 (編集部)

原稿執筆・構成: 宮城一春

【写真提供】

「ヨナグニサン」(アヤミハビル館)